

奈良県立生駒高等学校 中期計画

対象期間	令和4年4月～令和7年3月
本校の使命(スクール・ミッション)	自立した社会人の育成を目指して、「知・徳・体」の調和のとれた豊かな人間性をはぐくみ、心身を鍛えることによって一人ひとりが高い志をもって目標達成に向けていきいきと行動ができる生徒を育てます。

1 スクール・ポリシーの内容

教育方針(スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)	本校では、以下のような生徒の入学を待っています。 1 本校のスクールミッションを理解し、その達成に前向きに取り組む生徒 2 中学校の基本的な学力が身に付いており、新たな学習に対しても意欲的に取り組む生徒 3 自ら考え、行動する生徒 4 豊かな人間性を身に付け、温もりあふれる人格を養おうとする生徒 5 人間尊重の精神を持ち、すすんで社会貢献しようとする生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)	本校では、生涯学習の基盤を培う観点に立ち、社会の変化に主体的に対応できる人間の育成を図ることを基本的なねらいとし、その実現のために以下の方針に基づいた教育を行います。 1 心豊かな人間の育成 2 基礎・基本の重視と個性を生かす教育の充実 3 自己教育力の育成 4 文化と伝統の尊重と国際理解の推進 具体的には次の点に留意します。 ○魅力ある学校づくり ・学校の実態及び生徒の特性や希望する進路等を考慮し、創意と工夫を生かした教育課程を編成します。 ○自ら学ぶ力を育てる学習指導 ・基礎・基本を確実に定着させるとともに、一人一人の個性を生かす教育を推進します。 ・学習に主体的・自律的に取り組ませ、将来にわたって自ら学び続ける態度を育成します。 ○豊かな心を育てる指導 ・厳しく自己を見つめさせ、基本的な生活習慣の確立に向け指導します。 ・自らの適性や可能性を把握させ、自己実現に向け指導します。 ・豊かな人間性や社会性、健康でたくましい心身、国際社会に生きる人間としての自覚を育成します。 ・郷土の伝統、文化、自然等に関する理解を高め、尊重する態度を育成します。
	育成を目指す資質・能力に関する方針(グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業までに以下の資質・態度・能力を身に付けた生徒を育成します。 1 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度及び豊かな情操と道徳心 2 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を有するとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度 3 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度 4 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度 5 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に貢献する力

2 奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	計画期間における具体的目標
1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	体力の向上	スポーツテストの結果(Tスコア)2.0ポイント以上向上
	望ましい健康管理意識の確立	学校で実施する全ての健診において、再検査・精密検査の受診率70%以上
	望ましい食習慣の確立	バランスの良い食事を心がけ、朝食を摂取している生徒の割合が96%以上
2. 学ぶ力、考える力、探求する力をはぐくむ	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	授業アンケートにおいて、「授業に満足している」生徒が90%以上
	学習意欲の向上	生徒の授業外での平均学習時間が2時間以上
	ICTを活用した授業の推進	ICTを使用することで「学習内容理解が深まった」生徒が90%以上
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	インターンシップの充実	医療・看護系のインターンシップに加え大学等でのアカデミック・インターンシップへの生徒の参加率30%以上
	キャリア教育の推進	将来の職業選択につながる大学での体験活動等を3回以上企画
	産業界との連携の推進	キャリア講演会、卒業生による講演会を計3回以上実施
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	コミュニティスクールの運営	学校運営協議会を4回以上開催し、その提言を学校運営に反映させる。
	郷土の伝統、文化、自然等に関する学習の推進	「奈良TIME」の学習により、「奈良に対する理解が深まった」と感じる生徒の割合が90%以上
	グローバルマインドの育成	国際的に活躍できる、または、国際理解につながる学部・学科へ進学を希望する生徒40名以上
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	望ましい生活習慣の確立	時間の有効活用や、計画的行動などを意識し、実行することを心がけている生徒が90%以上
	多様な生徒への支援	教育相談の取り組みと有効性に対し、肯定的評価をする生徒が90%以上
	「多様性」を尊重し、共に生きていくための意思と実践力の育成	「いじめ」や「差別」に気づいたとき、指摘したり、問題意識を持てる生徒が95%以上